

人権講演会(6/26)を振り返って

【二年】

私は、今日人権講演会で講師の先生のお話を聞けてとてもよかったです。

なぜなら、障害者の方がどのようなことで困っているかが分かったからです。私は、出来るだけ席等をゆずるようになっていますが、気づかないこともあるかもしれません。障害者の方用なのに、私たちがずっと使っているのはあつてはならないことです。

なので私は、これから周りを見て、正しい判断を出来るようになります。

私は、今日の人権講演会で分かったことがあります。

それは、私たちの周りには、障害の人の為の、点字ブロックや、エレベーター内の低いボタンがあつても、障害の人と普通の人と共に暮らすには、そこにある道具だけではなく、普通に、手足が動かせて、目で見られて、耳で聞ける人たちの手助けが必ず必要、ということです。

今日の講演会を胸に、暮らしていきたいです。

今日の千葉さんの話を聞いて、私は、あきらめなければ努力は実る、ということを学びました。

そして今の日本には、障害者への配慮が足りないという現状を理解しました。

このようなことがある限り、障害を持っている人が安心して過ごせる社会は出来ません。誰もが安心して過ごすことの出来る日本にするには助け合いが必要です。誰もが助け合いを大事に出来る日本にしていきたいと思いま

す。

今日、千葉さんの話を聞いて、二つ学びました。

一つは、思いやりの心がもつと必要だなと思ったことです。

二つ目は、努力をしたりして、自分の未来を輝かせることを学びました。たとえ、どんな苦痛や、困難があつたとしても、自分自身のやり方、自分自身の努力の仕方での自分の好きな、または楽しい先を歩めることが今日のことで分かりました。

今日の人権講演会で千葉さんが三十五年間に下半身がまひして動けなくなり、車いす生活を送ってきたことが分かったことなどを話してくれました。私はその話を聞いて一番分かったことは、障害者やお年寄り等の人にやさしく接するということです。私は今までたくさんの車いすに乗った人やお年寄りの人などを見てきましたが、やさしく接することは出来ませんでした。でも今日の話を聞いて、優しく接しようと思うようになりました。

【二年】

今日の講演会で、今の日本の課題と、日本と海外の違いが分かりました。

海外では、スポーツという一つの大きな運動の中に、健常者と障害者の違いはなく、皆が楽しめ、頑張ることが出来、区別なく行えることが日本との違いだと思います。これからは、健常者と障害者が協力し、支え合い、皆が楽しく生活出来るように、私たちが、共存し合える環境を作っていけるように、頑張っていきたいと思います。

僕は今日の人権講演会で今の日本人の態度とこれから変えていくべきことを知りました。

今の日本人は他人にまかせつきりで、自分から行動しようという気がまったくなく、僕は自分もそういうダメな所があるから、自分から行動しようと反省しました。今回は千葉さんと同じように、苦労しながらも、楽しく過ごしている人が、いやな気持ちにならず過ごすには自分や周りの人々が助け合えば良いと思いました。

今回の話を聞いて、人との関わりや、今後、自分がどのように努力していけばいいのかを学ぶことが出来ました。

私は小学校までは人と関わるのが苦手でした。でも、中学校に入ってから友達と話しかけてくれたり、自分からも声をかけられるようになりました。今回の話を聞いてから、もっともつと人との関わり方や接し方を深めていこうと思いました。

今日、聞いたことを、今後に生かしていきます。

障がいを持っている千葉さんの話を聞いて印象に残ったことは、誰にでも可能性はあるという言葉です。

出来ないといふ決めつけるのではなく、やってみるということとが大切だと知りました。失敗した経験は次に生かして、マイナスをプラスに変えていけるようにしたいです。無駄はないということが分かりました。

今日の講演会で知ったことなどは、これからの経験に生かしていこうと思います。

今回の人権講演会について、自分の性格がどのように

なっているが気になります。

私は、人間は全て平等だと思っています。だから、障害者も「体に障害があっても差別する必要はない」と思います。千葉さんの話をきっかけに、私も意識したいです。どんな人でも出来ることがある、差別する必要はない、私はそう思いました。印象に残った「障害を理由にするな。」このことをしっかりとめて生活したいです。

【三年】

今日の講演会を聞いて、千葉さんは吾嬬二中の生徒に車いすの人が考えていること、してほしいことを本当に聞いて欲しいというのを、マイクを使わず話している所から伝わった。

けがをしてしまったことでめげず、自由に動けないことを障害のせいにはいけない。この言葉を聞いて、もし駅で困っている人を見かけたら声を掛けようと思った。

私も自分の目標を持ち一生懸命、取り組んでいこうと思う。

今回の人権講演会で、車いすや他のことについて、色々知ることが出来ました。

例えば、日本は汚いことにはふたをする、ということですが。階段の話聞いて、他の人が困っていてもスルーしてしまうということについて、とても心が痛みました。私が出来たことは少ないけど、もし人が困っていたら、勇気を出して声をかけようと思いました。

障害者を差別するのではなく、皆、平等の世界になつて欲しいと思いました。

今日の人権講演会で、車いすで過している人の気持ちをたくさん知ることが出来ました。

私が一番心に残った言葉は、「あきらめず何ことにもチャレンジする」という言葉です。あきらめずにチャレンジすれば、夢は叶うこともあるのだな、と思いました。

私もたくさんことにチャレンジしてみようと思いました。そして、誰か困っている人がいたら自分から声をかけられるような人になろうと思いました。

今回の人権講演会では、千葉さんが自身の体験を元に、中学生の僕たちに分かりやすく講話をしていただきました。

話の中で、「察する」という言葉が出てきましたが、相手の気持ち、行動を「察する」為には、日常から常に自分ではなく、人のことを考え、その他の気持ちになって生活することが大切だと教えてもらいました。

これからの生活は、困っている人を見たら、その人の気持ちになつて助けようと思います。

僕は、この人権講演会で、考えたことがあります。

それは、障害がある方と共存する未来です。僕達の世代でも障害のある方がいます。そういった方々がいたら、声をかけるとか、手伝ってあげるとか、車いすの方々に場所を譲るとか、そういった行いをしていけないといけないと思いました。

そういうことの積み重ねをして、将来自分たちで日本の未来を作り上げていきます。

今回の講演を聞いて、どんな人でも、お互いに相手

の考えを察して、行動することが大切だと思います。

その為に、物理的にバリアフリーにするのではなく、人々が互いに補い合うようにしていけば良いと思います。これは、とても難しいことだとは思いますが、これを成し遂げた時、とても良い世の中になると 생각합니다。

今回の講演会を忘れずに、今後に生かしていきたいです。

今日の人権講演会で、車いすの方の大変な所や、パラリンピックのことを知ることが出来たと思います。

そして、今の日本の社会には、相手の気持ちを考えることが大切だと思います。

今後は、車いすの方だけではなく、他にも障害を持っている方が困っていたら、力になれるような人間になりたいと思いました。そして、これからは日本がもつと障害のある方に優しい国になつて欲しいと思いました。

今回の人権講演会を通して、改めて、障害者に対してのやさしさや自分が思っていた考えが変わりました。自分が思っていたのは、誰かが助けないと生きていけない等と思っていました。一人でも、出来ることが多いのだなと思いました。

僕は今回印象に残ったのは、「言い訳をするな。」という言葉です。僕は、言い訳をすることが多いので、千葉さんのように、あきらめずに頑張りたいと今回を通して分かりました。